

令和6年度
地域づくり活動
アシスト事業報告

自然と伝統が息づく窪野町

「にぎやかな過疎をつくる里山の力」
窪野町から広がる地域の輪

コーナーも併設し、世代を超えて楽しめる祭りとして定着しています。

の販売、新規就農者との交流、中学生のボランティア体験など、多彩な催しが窪野の魅力伝えていきます。

今回の助成金では、地元紹介パネルやサイクリングマップ、収穫祭チラシを制作しました。来場者からは「窪野を知ってまた来たい」との声も多く、情報発信の効果を実感しています。令和7年度には、彼岸花群生地を巡るE-BIKEツアーの企画も進行中です。

未来へつなぐ暮らしたくなる里山

テスト入賞作品は会場に展示され、来場者の目を惹きつけました。



竹灯籠灯

助成事業で広がる交流と発信

もう一つのイベントは、9月の「いよくぼの収穫祭」です。全国8選にも選ばれた彼岸花群生地を背景に、約700名が訪れました。地元農産品や陶芸作品



音楽イベント



屋台販売



彼岸花群生地

継続的な取り組みにより、ボランティアの輪も広がり、地域外からの来訪者が増えることで、地元住民の活力にもつながっています。「にぎやかな過疎をつくる」この言葉を胸に、窪野町が他の中山間地域のモデルとなることを願い、今後も活動を続けていきます。



新米販売

くぼの里山会
事務局長 篠原 英行

